

在庫保管基準書

【棚卸しの実施】

年に3回、在庫管理(定期的な商品の見直し、幽霊在庫発生回避など)のため、システムの在庫一覧表などを利用し、全品棚卸しを行って下さい。

注意事項

※ 外装パネル、レンズ類への在庫シール、粘着テープ等直貼りの禁止
商品への在庫シールや粘着テープの直貼りを行わない様な工夫をお願い致します。

※ 外装品に関しては在庫時に保護材の強制は無いが、商品同士の干渉によるキズには十分注意する事

※ 出荷時には再度美化作業を必ず実施する事。特に長期在庫には注意すること。

1. ボンネットフード

- ① 横置き。1スパン4枚まで。
- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ、エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで可。(必ずクッション材を入れる)

2. フェンダー

- ① 棚置き。出来れば保護材を巻いての立てかけ。吊下げ。
- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで。

3. バンパー類

- ① 棚置き。ホースメント付き、及びPPで両袖が広がる状態の場合は重ね禁止。
- ② 出荷時には、フェイス部分及び塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ、エアキャップ等)
- ③ 欠品部品は必ず明記する事。

4. 各レンズ類(グリル含む)

- ① 棚置き。重ね置きは厳禁。
- ② グリルは壁掛けOK。(但し、出し入れ時には取り付け部の破損に注意する事)
- ③ ビニール袋に入れるかエアキャップを巻く事。

5. 各ガラス

- ① 基本的に倉庫内で一番人通りの少ない場所に設置する。
- ② 棚置き。1スパン4枚まで。出し入れには十分注意する事。
- ③ 立てかけは3枚まで。間にクッション材を入れる事。
- ④ 重ね入れは厳禁。
- ⑤ シール材を綺麗に取除きフチ欠けの確認。エアキャップを巻く事。

6. ドア

- ① 棚置き。1スパン4枚まで。(クッション材を入れる)
- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで。

7. スライドタイプのドア

- ① 棚置き。1スパン4枚まで。(クッション材を入れる)
- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで。

8. トランク

- ① 棚置き。1スパン2枚まで。(クッション材を入れる)

【15. 在庫保管基準書】

- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで。

9. リヤゲード(バックドア)

- ① 棚置き。1スパン4枚まで。(クッション材を入れる)
- ② 出荷時には塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)
- ③ 立てかけは2枚まで。

10. ドアミラー

- ① 棚置き。重ね置き禁止。
- ② 塗装面に保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)

11. エンジンAssy

- ① 検査表に基づいたテスト。走行距離は端数まで正確に入力する事。
付帯部品と付属部品の明記とテスト。
- ② 3ヶ月毎と出荷時には手動でクランキングを行う。
- ③ 長期間保存する場合は、CRC・オイルなどをシリンダー内に少量入れて完全に密封し保存する。完全密封とスチーム洗浄できる状態。
排気マニホールドの管口も湿気が入らぬように密封する事。
- ④ オイルの状態等チェックしてから在庫する。
- ⑤ 出荷時には取り付け注意書を必ず添付する事。
- ⑥ 冷却水のイン・アウトはブロック内の水抜きを完全に行い密閉する事。
- ⑦ 必ず屋内に保管する。(屋根だけの倉庫は不可)
- ⑧ 土間置き禁止。(パレット置きを原則とする)
- ⑨ 検査表は必ず(株)JARA発行の物だけを使用する。
- ⑩ エキゾーストパイプ・マウント・ブラケットはガス切断禁止。
- ⑪ 切断したホース・ワイヤー類は必ず元から取り外す。
- ⑫ ハーネスをつけない場合は、腐食防止の為にカプラを残し、出荷時洗浄後にカプラを外す。
- ⑬ ハーネスをつけた場合は必ずカッコ内にハーネス付と明記する。
(ハーネスを5cm以上残すこと)
- ⑭ 欠品部品は必ず明記する。Assyの定義、補器類が作動不良の場合は欠品扱いとし、
出荷時の洗浄後取り外す。(欠品を優先に入力する事)
- ⑮ 油圧は任意で出来るだけ測定する。

12. トランスミッション

- ① 検査表に基づいたテスト。走行距離は端数まで正確に入力する事。
- ② コンタミチェッカー等でオイルの状態等チェックしてから在庫する事。
(但し5速AT、CVT系、またはドレーンプラグの無い物は抜かないで在庫する事)
※出荷時においても意図的にオイルを抜かず、オイル漏れが無い様に留意し集荷する事。
- ③ 土間置き禁止。(パレット置きを原則とする)
- ④ A/Tコンバーターは防錆処理をする。(防錆剤・グリス等塗布する)コンバーターの取付け
ボルトは必ず付けておく事。
(その車輛以外のボルトは絶対につけない事。紛失の際はボルトをつけないで防錆処理を
する)
- ⑤ 切断したホース、ワイヤー類は必ず元から取り外す。
- ⑥ 必ず屋内に保管する。(屋根だけの倉庫は不可)
- ⑦ 原則としてコンバーター付き。(無い場合は必ず明記すること)
- ⑧ コンバーターは固定すること。(ボルト・ストッパー等で)
- ⑨ A/T車は出荷時に取り付け注意書を必ず添付すること。
出荷時の洗浄厳守。(但し洗浄しない方が良いミッションCVT系が有るので注意)
- ⑩ ハーネスをつけた場合は必ずカッコ内に明記する。カプラ(%)をつけた時も形状入力欄
に明記する。(別途カプラ付帯について参照)

13. セルモーター・オルタネーター

- ① 重ね置き禁止。棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 洗浄はしないで在庫する。(洗浄は発送時も不可)
- ③ セルモーター出荷時にはギアの目視点検。出荷時には必ず取り付け注意書を添付する事。

14. 噴射ポンプ

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 空気が入らないように必ず密封する事。

15. ターボチャージャー

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 密封する。(エンビキャップ等)出荷時には必ず取り付け注意書を添付する事。

16. スーパーチャージャー

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 密封する。(エンビキャップ等)

17. エアフロメーター

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 密封する。

18. インタークーラー

- ① 棚置き。(重ね置き禁止)
- ② 密封する。
- ③ 1スパンに立てかける場合3枚とし、間にクッション材を入れる。
出し入れの際、フィン倒れに注意する。

19. ラジエーター

- ① 棚置き。(重ね置き禁止、出来ればフィンが傷つかない様、ダンボールをフィンの部分にあてて保護をする)
- ② 1スパンに立てかける場合5枚とし、間にクッション材を入れる。
出し入れの際、フィン倒れに注意する。

20. 各コンピューター

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。袋詰め又はショーケース。
- ② 重ねは5枚まで。

21. ストラット類・アーム類

- ① 棚置き。吊下げ。
- ② 洗浄はしないで在庫する。
(洗浄は発送時。水分は完全に除去し防錆処理をして出荷する事)

22. ドライブシャフト・プロペラシャフト

- ① 棚置き。吊下げ。
- ② 重ね禁止。(エンビ管可)
- ③ 袋詰めするか防錆処理をし、アウター側のナットをつける。

23. 各メンバー類

- ① 棚置き。吊下げ。(重ね禁止)

【15. 在庫保管基準書】

24. ステアリングシャフト

- ① 棚置き、又は吊下げ。(重ね禁止)
- ② コントロールピニオン部&ユニバーサルジョイント部に防錆処理をする事。

25. P/Sペーンポンプ

- ① 棚置き。
- ② オイル漏れのない様密封する。(エンビキャップ等)
- ③ 出荷時には必ず取り付け注意書を添付する事。

26. 各デフ

- ① 棚置き。エア抜きバルブを上にした状態で保管する事。(オイル流出防止)
- ② ハウジング内に、ほこりの混入防止の為の処置を行う事。(エア抜きバルブの密閉は不可)

27. マフラー類

- ① 屋内保管。棚置き。立てかけ。吊下げ。密封する事。
- ② 風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。

28. 触媒

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。重ねは5枚まで。
- ② 密封する事。

29. P/S Assy

- ① 箱詰め。棚置き。オイル流出防止処理をする事。
- ② 欠品部品を明記する事。

30. ステアリングギアBOX

- ① 棚置き。吊下げ。重ね禁止。パイプの密封。
- ② タイロッドエンド・コントロールピニオン部に防錆処理をする事。
- ③ オイル流出防止処理をする事。
- ④ 洗浄はしないで在庫する。
(洗浄は発送時。水分は完全に除去し防錆剤をして出荷する事)

31. 各アクスルホーシングAssy

- ① 山積み禁止。出荷時にオイル抜き処理をする事。
- ② 屋内保管を原則とする。但し屋根付で風雨対策が屋内保管に準ずる建物での保管は認めるが防錆処理には十分注意し品質を維持できる環境を保つ事。
- ③ 防錆の為、ハブのボルトにはホイールナットを取付ける等の処置を行う事。
- ④ 出荷時に洗浄。

32. 各ハブAssy

- ① 棚置き。ベアリング部に防錆処理をする事。
- ② 原則として洗浄はしないで在庫する。但し塩害等が発生する地域などにおいては、防錆対策などで洗う必要性のある場合はドライブシャフトを完全に締め付けた状態で洗浄する。洗浄後は水分を完全に除去し防錆処理をする事。ベアリング部の再点検。
(通常は発送時に洗浄する)
- ③ 防錆の為、ハブのボルトにはホイールナットを取付ける等の処置を行う事
- ④ 欠品部品は必ず明記する事。

33. コイルスプリング

- ① 棚置き。吊下げ。
- ② 左右明記。

34. インストルメントパネル

- ① 棚置き。一枚置き。
- ② 保護材を巻く事。(ポリチューブ・エアキャップ等)

35. ラジオ & カセット・メーター

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。又はショーケース。
- ② 袋詰め。

36. エアコンAssy

- ① 密封して箱詰め。棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② 欠品部品は必ず明記する事。
- ③ 出荷時にもコンプレッサーのベアリング音を点検する。

37. コンデンサー

- ① 棚置き。(重ね置き禁止、出来ればフィンが傷つかない様、ダンボール等をフィン部分にあてて保護をする)
- ② 切断状態は厳禁。配管のジョイント部は必ず緩めて点検し密封する。
- ③ 1スパンに立てかける場合は5枚とし、間にクッション材を入れる。
- ④ 出し入れの際、フィン倒れに注意する。

38. A/Cコンプレッサー

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。
- ② パイプの切断状態厳禁。配管のジョイント部は必ず緩めて点検し密封する。
- ③ 出荷時には必ず取り付け注意書を添付する事。

39. エアコンクーリングユニット

- ① 棚置き。風通しの良い湿気の少ない日陰に在庫する。袋詰め。
- ② 切断状態厳禁。配管のジョイントは必ず緩めて点検し密封する事。

作成2021年7月1日